



# 障害福祉

## 青年フォーラム

### 2012 in 大分

障害福祉青年フォーラム  
実行委員会

平成 24 年度 IYEO チャレンジ・ファンド助成事業

平成 24 年 8 月 25 日（土）～26 日（日）、大分県総合社会福祉会館にて、障害福祉青年フォーラム 2012 in 大分が開催され、100 名を超える参加者が集いました。このフォーラムは、内閣府青年国際交流事業の一つである「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」の平成 23 年度ニュージーランド派遣者（障害者関連活動）の報告及び有識者による講演を実施することで、「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」既参加者及び障害福祉関係者等が集い、議論し、新たなネットワークを構築すること等を通じて国内の障害福祉の向上を図ることを目指して実施されました。参加者は、インクルーシブ社会の実現に向け、国内の障害福祉に係る課題や解決策について共有を図るとともに、海外の障害福祉の現状について学びを深めました。

【障害福祉青年フォーラム実行委員会 実行委員長 阿部 友輝】

今回、100 名を越える参加者に参加いただいた「障害福祉青年フォーラム 2012 in 大分」を盛況のうちに終えることができました。

このフォーラムは、平成 23 年度「青年社会活動コアリーダー育成プログラム」障害者関連活動分野でニュージーランドに派遣された団員で企画しました。

ニュージーランドでは、それぞれがニュージーランドで同じ経験をしたにもかかわらず、バックボンの違いから、評価や考え方が全く違う団の仲間と「インクルーシブ社会とは何だろう」など議論することはとても有意義で刺激的な時間でした。事業参加により得ることのできた大きなものの一つは、団の皆さんとの「縁」であったと言っても過言ではありません。

そんな我々の中で、「せっかく見てきたこと、聞いてきたことを還元することは必要ではないか？」という想いと、「我々で議論するだけでもこんなに有意義で刺激的なのだから、もっと多くの人と議論すると、もっとおもしろいのではないか？」という考えから始まった企画。



さっそく、IYEO にも相談。そして、どうせ実施するならニュージーランドの研究をされている先生に協力を仰ぐと、山形県の東北公益文科大学へ。また、多くのところにかかわってもらおうと、関係省庁へ。

バタバタと打合せや準備を行いながら、気持ちで乗り切って迎えた開催当日。予想を超える参加者数で、多くの方と同じ課題や認識を共有でき、開催した意義を感じました。

今回の開催にあたっては、この企画を一緒に作り上げたニュージーランド団の皆様、大分で現地の細やかな準備を手伝ってくれた友人たち等多くの支えがあったことは、感謝してもきれないものがありますが、今回だけで終わることなく、今後もしっかりと活動を継続していくことで、かかわってくれた全ての方々のご恩に報いていきたいと思ひます。



【障害福祉青年フォーラム実行委員 衛藤 麻理子】

ニュージーランド派遣団の皆さんが、派遣の成果を持ち帰り、全国各地のご自身のフィールドで、活躍されているお話をとても興味深く聞かせていただきました。ニュージーランドとの比較を通じて、あらためて日本という国を見つめた皆さんが考える「インクルーシブ社会とは？」の発言はとても印象的でした。フォーラムでは、大分県内で今まさに差別禁止条例制定活動に携わっている方が発言されるなど、双方向の充実した内容でした。

